



活気あふれる夏の祭典

宮城地区納涼祭が8月3日、宮城総合運動場で行われました。会場内は各種団体の模擬店が並び、ステージでは和太鼓演奏など多彩な催し。祭りのフィナーレとして夏の夜空に花火が鮮やかに打ち上げられ、訪れた人を魅了していました。



秋篠宮ご夫妻と眞子さまが本市訪問

秋篠宮ご夫妻と眞子さまは、8月6日、全国高等学校総合文化祭（ぐんま総文）視察のため、本市などを訪問されました。県庁県民ホールで書道部門の展示をご覧になり、その後、ぐんまアリーナで行われた総合開会式にご臨席されました。



掛け声大きく響かせて

粕川小校庭で8月3日、粕川まつりを開催。掛け声と共にたくさんの山車やみこしが会場を練り歩く様子は迫力満点。粕川音頭や子ども抽選会なども行われ、全世代が楽しめる祭りとなりました。



暴れ獅子が町内を練り歩く

7月26日と27日の2日間、大胡祇園まつりがJA前橋市大胡支所駐車場などで盛大に開催されました。会場内ではだんべえ踊りや民謡、子どもみこしなどを披露。また、27日は勇壮な暴れ獅子が町内を練り歩き、祭りを盛り上げました。



フォトコンテストで最高賞
石関 準子さん・68歳
荒子町

ファイnderをのぞくはなも無心

今年、3月から6月までの72日間行われた全国都市緑化ぐんまフェア。それをテーマに「花と緑のシンフォニーぐんま2008フォトコンテスト」が行われ、492点の応募の中から、最高賞の推薦に選ばれた。「初めての大きな受賞なんです。とてもうれしいです」



「花が大好きなんです。カメラを持参して、10回以上足を運びましたね。撮影したのは5月4日の日曜日。この日は天気がよく、全体の風景を撮りたくて、1枚1枚を慎重にシャッターを切ったんです」

20歳のころから写真に興味があり、自分の子どもを撮っていた。その子どもたちも成人となり、自分の時間がとれるようになった。友人からの誘いもあり、8年前から本格的に写真クラブに入り活動している。

「いつも、息子から孫の運動会などの写真を頼まれます。また、イベントがあるたびに、どこへでも1人で車を運転して出掛けます」
家では写真の本を愛読。ファイダーをのぞいているときが無心になれて、それが生きがいでもある。「これから尾瀬岩鞍ゆり園へ出掛けたり、四季折々の風景を撮ったりしてみたい」と、目を輝かせる。いつまでも健康であり続け、きれいな写真を撮り続けてほしい。

若い芽のポエム

昨年度行われた第11回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★入選 「おなかの中」

沖縄県宮古島市立平良第一小2年
安里 一香さん

おなかの中は台風だ
ゴロゴロ ピカピカ
カミナリみたい
サッサー サッサー
風の音
ザーザー ザーザー
雨の音
まるで
台風せんたくき
おなかの中は
大変だ
おやつ時間に
晴れるのさ

つうじた つうじた。

つうじると気持ちがいいね。

おもしろい手話もある。

こうやって こうやって。

つたわってきた つたわってきた。

いろいろな人と話してみたい。

★入選 星空

総社小5年
山田 恵美さん

星空よ、町の明かりでみえないぞ。

もっと、光って、

もっと、かがやけ。

星空の主役、星よ。

お月様も、

まんげつも、

星からパワーをすいとってる。

もっと、光ってかがやいて、

星空の主役、星よ。

★入選 手話

桃川小4年
淵上 由貴さん

手話を覚えた。
手話で人につたえよう。

手話で気持ちがつたわる。
おぼえるにもひとくろう。

こうやって こうやって。
相手の目が動いた。